

授業科目	国際インターンシップ B					実務家教員担当科目	-		
単位	2	履修	選択	開講年次	1	開講時期	後期・前期		
担当教員	西原 真弓								
授業概要	この科目は、夏季休暇中に、英語学科が指定するインターンシッププログラムに自立的に参加するものです。これまで培ってきた自分の英語力や実践力を試す機会となります。現地でのインターンシップやオンラインの国際インターンシップを通して、異文化環境において様々な状況に柔軟に対応し、英語コミュニケーション力の向上と課題解決力及びグローバルマインドの育成を目的とします。出発前には、海外渡航に必要な諸手続きや、海外生活に向けての安全対策や心構えに関する事前準備を行います。また、帰国後はインターンシップの成果報告会を行います。事前・事後指導は、土曜日や夏休み期間を使い集中的に行います。海外でのインターンシップにかかる諸経費は、すべて受講生の自己負担となります。								
授業形態	対面授業（一部オンデマンド）				授業方法	海外インターンシップ実践、グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション			
学生が達成すべき行動目標									
標準的レベル	1. インターンシップでの職責を果たすことができる。 2. 職場や生活の場で、英語でコミュニケーションをはかろうとすることができる。 3. 様々な状況や問題に柔軟に対応しようとするすることができる。 4. 海外インターンシップでの経験を客観的に振り返ることができる。								
理想的レベル	1. インターンシップでの職責を主体的に積極的に果たすことができる。 2. 職場や生活の場で、自分から進んで英語でコミュニケーションをはかろうとすることができる。 3. 様々な状況や問題に対し、主体的に動き柔軟に対応しようとするすることができる。 4. 海外インターンシップでの経験を客観的に振り返り次に活かそうとすることができる。								
評価方法・評価割合									
評価方法			評価割合（数値）				備考		
試験									
小テスト									
レポート									
発表（口頭、プレゼンテーション）			20				帰国後の報告会		
レポート外の提出物			60				インターンシップ中のジャーナル		
その他			20				事前準備中の自立的な取り組み姿勢		
カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング									
DP1	-	DP2	○	DP3	○	DP4	○	ナンバリング	-
学習課題（予習・復習）									1回の目安時間（時間）
毎日、英語 4 技能の訓練をする。（特にリスニングとスピーキング） 渡航先の国の文化や社会について勉強する。									0
授業計画									

第1回	この科目は、通常の履修登録とは異なり、別途開催される説明会に参加することが必要である。時間割上に授業科目が設定されないため、科目担当者からの連絡を UNIPA などで必ず確認しておくこと。また、事前指導は、土曜日や夏休み中に設定される。 9 月：国際インターンシップについての説明会に参加する。 10 月中旬：参加プログラムを主催する会社に直接申し込みをする。 申し込み及びプログラム費用の支払いを確認した後、インターンシップ受け入れ先の調整を始める。 〔科目担当者がまとめて履修登録〕 11 月～1 月：事前指導（安全対策、ビザ、保険などの手続きを含む） 2 月～3 月：海外渡航：国際インターンシップ実践 4 月：帰国報告会
テキスト	必要に応じて担当者が準備する。
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	適宜紹介する。
課題に対するフィードバックの方法	インターンシップ中にオンラインで提出するジャーナルにはコメントをつけて返却する。 事前指導での態度については口頭でコメントをする。 報告会での発表には、口頭でコメントをする。
学生へのメッセージ・コメント	海外で働くためには、できるだけ英語コミュニケーション能力を高めて渡航することが必要です。しっかり英語で自分の考えを伝えられるよう練習をしてください。また、自分が渡航する国の文化や社会について十分に調べて理解を深めてください。異文化で働き生活をする際には自分の常識が通用しないことがあります。現地の人たちとしっかりコミュニケーションを取りながら現地の習慣や考え方を柔軟に取り入れることができるように準備しておきましょう。